

二〇一四年度生 願書受付中

ホメオパシーは

科学であり、

医学であり、

そして自然に

生きるための

哲学である。

伝統的かつ最先端の

ホメオパシーを

学びませんか。

カレッジ・オブ・ホリスティック・
ホメオパシー
CHhomシーエイチホーム学長

由井寅子



真の学びを体感できる
由井寅子学長
ライブ授業オープンキャンパス 開催!!



- 2014年1月25日(土)10:00~13:30
プロフェッショナルホメオパス養成コース
「ホメオパシーの病理」
- 2014年1月30日(木)10:00~13:30
ファミリーホメオパス養成コース
- 2014年2月9日(日)10:00~13:30
プロフェッショナルホメオパス養成コース
「ホメオパシー原理を学ぶ(オルガン講義)」
- インナーチャイルドセラピスト養成コース
1月~3月の予定はお問い合わせください。

第三回「日本の農業と環境シンポジウム

—安全な食は、自然農と自家採取の種にあり—

主催 農業生産法人日本豊受自然農株式会社
協賛 カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシーCHhom

二〇一四年三月 京都にて開催!

二〇一三年もお世話になりました。カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー学長の由井寅子です。ホメオパシーは、今から二百年前にドイツの医師ハーネマンが確立させた自然療法です。近代西洋医学のよみに、症状を抑える療法ではなく、症状は体や心から必要があって出ているものであり、症状を出し切ることが治療につながるという考え方をもち、「同じような症状を出すものがその症状を癒す」という「同種の法則」に基づいています。たとえば、日本にも喉がヒリヒリする時に、ヒリヒリするしょうが湯を飲むことも同種ですね。そして、ハーネマンはさらに、例えば先ほどのしょうがを天文学的に導いて活性化し、それを希釈振盪と言いますが、物質のない情報パターン(それをレメデーといいますが)だけを与えることにより、副作用なく治療に導くことがホメオパシー療法の大きな特徴になっています。

私自身が潰瘍性大腸炎という難病になり、現代医学やさまざまな治療法で治癒できず、私の人生もここまでかと思った時に、英国でホメオパシーを受け、潰瘍性大腸炎が改善しました。この体験は私の人生を大きく変え、英国でホメオパシーを学び、十八年前に日本に帰国し、ホメオパシーを学ぶ学校や協会を設立しました。現在、職業保険を持つ、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定資格をとり、活動する仲間が六百名になりました。ホメオパシーは体と心と魂を三位一体とするものであり、本カレッジでは、現代医学とホメオパシー医学の統合(心)、心理学とホメオパシー医学の統合(心)、霊性とホメオパシー医学の統合(魂を)目指しています。以上のことを踏まえて、体・心・魂の病気を三位一体化させたさまざまな角度からのアプローチとしてホメオパシーだけでなく、病理・生理・解剖学、心理学、インナーチャイルド癒し、自然な生き方、薬草ハーブ、体操、食養生、自然療法、スパジリック、フラワーエッセンスなども学びます。

このようにCHhomは、すべての立場を含有しつつ常に進化した統合的なホメオパシーを実践する、苦しむ人々の立場に立った全世界的にも最先端の教育を行うカレッジといえるでしょう。人は自らが治る力をもっています。ホメオパシーはその自己治癒力を触発し、心も体も健康になる療法です。ホメオパシーの技術を私たちの学校で学びませんか。

ホメオパシーは人だけでなく植物にも効果があります。ホメオパシーを応用した自然農は化学肥料も農薬も、全く使わなくても作物たちは育ってくれます。土壌環境を汚さないためにも食の安全のためにも一役買っています。食の安全や環境保全を考える皆さま、三月に開催される第三回「日本の農業と環境シンポジウム」においてください。

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHhomシーエイチホーム

<http://www.homoeopathy.ac/>

お問い合わせ

◆東京本校：東京都世田谷区池尻2-30-14 Tel：03-5779-8005
◆大阪校：大阪府吹田市垂水町3-9-9 Tel：06-6368-5350

CHhomショップ 農家で作った無農薬野菜&ハーブの自然派コスメ インターネット販売 <http://shop.toyouke.com/chhom/>

●東京店/Tel：03-5779-8624 ●札幌店/Tel：011-738-6671 ●名古屋店/Tel：052-533-0171
●大阪店/Tel：06-6368-5350 ●福岡店/Tel：092-533-6551



野菜&ハーブ入り自然化粧品「生草花(しょうそうか)」

京都シンポジウムの詳細はカレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシーまでお問い合わせください。第2回の様子はこちらから<http://toyouke.com/kyoto2013/index.html>！まもなく特設サイト公開